

1 「附属中学校2年生における防災教育」について

以前、被服製作の基礎・基本と防災教育・エコの視点を重視した教材「すくーとん」について紹介した。

被服製作を通して防災意識を身に付けさせること、「すくーとん」を実際に使用し、自分の身を守ることの大切さを教えたいことが指導のねらいのひとつにあり、製作を終えた後、災害への備えへと学習を繋げている。

防災に係る講義については、児童・生徒に防災の大切さを学びを通して知らせている日本損害保険協会に協力を得て、2年前から TT 授業を実施しており、経済的な備えについても内容に含めている。

なお、この学習内容は教員ひとりでも実施可能である。ワークシートや授業展開等、参考にさせていただければ嬉しく思う。



2 「安全な住まい 災害への備え」 日本損害保険協会とのTT授業について

(1) ワークシートと資料編

講義とスライド・資料編を視聴しながらワークシート記入を行うように授業を進めた。

ワークシートは、講義を聴きながら記入する部分と自分で考えて記入する箇所を織り交ぜた。また、「確認してみよう」の欄を設け、本時間の理解度や家庭での備えについて確認できるように工夫した。

資料編は、講義内容の理解を深めるための資料として作成し、配付した。

Worksheet page 1: Introduction and basic information about disaster prevention.

Worksheet page 2: Multiple-choice and short-answer questions about disaster prevention.

Worksheet page 3: Questions about disaster prevention and a table for recording answers.

Worksheet page 4: Questions about disaster prevention and a table for recording answers.

【ワークシート】

【資料編】

(2) 「ぼうさいダック」と「すくーとん」の活用

「からだをまるめて ひくくかがもう。たてももの なかににげるのがあんぜん」 右に示すカードに書かれている言葉である。これは、幼児・小学生向けに日本損害保険協会が作成したカードゲーム「ぼうさいダック」(全12種類)である。

その中のひとつ「まず あたまを まもろう」は、地震が起きたときの最初の行動である。

生徒は、自分で作った防災頭巾「すくーとん」を全員被って頭を守る実践を行った。



からだをまるめて ひくくかがもう。 たてももの なかににげるのがあんぜん。 Bousai Duck

(3) 授業のねらい

自然災害などにおける非常時の備えについて考えるとともに、住まいの安全対策について認識させ、工夫や実践に繋げさせる。

(4) 評価規準

自然災害などにおける非常時の備えについて具体的な方法等を考えたり、安全な住まい方ができるよう工夫し、実生活に活かすことができる。【関心 意欲 態度】

(5) 展開案 ※(S)は、スライドを示す

【T1:竝川 T2:日本損害保険協会 講師】

	時間	内 容
導 入	2分	・挨拶・講師紹介・本時の内容について説明 (T1)
	3分	・自然災害の種類について発問 (発問 T1 → 指名 損保) Q:考えてみよう 「自然災害にはどんなことがあるだろう・・・」
展 開	6分	<b>1 災害は、忘れたときにやってくる</b> ・日本での大きな自然災害例について説明 (S) (T2) ・災害についてまとめる (T1)・・・ワークシートに記入
	6分	<b>2 備えあれば憂いなし</b> <b>(1)「防災マップ」「ハザードマップ」について説明 (S) (T2)</b> ・特に本校近辺について説明 ※京都市防災マップを回覧する Q:家庭でどのような備えをしているだろうか・・・避難場所や連絡先などは?
	9分	<b>(2)住まいの災害対策について説明</b> ・風水災対策について説明 (S) (T2) ・具体的な安全対策について (発問・まとめ T1)・・・ワークシートに記入 ※資料編活用
	4分	<b>(3)地震対策について実践及び説明</b> ・「ぼうさいダック」及び「すくーとん」を活用してた防災訓練 (T2) ※頭部を守ることの大切さと結びつけて説明 補足説明 (T1) ・具体的な安全対策 (発問・まとめ(S)T1)・・・ワークシートに記入 ※資料編活用 ※災害に備えて、地域の人とのかかわりの大切さを説明 (T1)
	2分	<b>(4)家族で防災会議をしよう</b> ・災害用伝言ダイヤルの説明(S) (T2) ※資料編活用 ※防災の第一歩は、被災後の状況をイメージし、災害への備えの大切さに気付くこと
	10分	<b>3 自然災害への経済的な備えについて</b> <b>(1)経済的な備えとして貯蓄と保険についてまとめる・・・ (発問 T1 → 指名 T2)</b> ・経済的な備えについて説明 (T1)・・・ワークシートに記入
		<b>(2)住まいの保険</b> ・損害保険 (火災保険・地震保険) と内容について説明 (T2)
	3分	<b>4 まとめ</b> ・確認してみようを記入させる (指示 T1)
	1分	<b>5 質疑応答 (T1・T2)</b> ※時間を見て「質疑応答」の時間を調整
	ま と め	4分

※ ・「考えてみよう」の発問は竝川が、指名は講師が行うよう設定し、生徒との一体感を持てるように工夫した。


・TT 授業の場合、授業展開や各持ち時間の目安などを決めておき、授業時間内に完結できるよう確認が必要であり、その為の打ち合わせ時間等かなり要した。

## (6) アンケート

アンケートは、今後の授業に活かせる内容も含めて考えた。

代表的な感想を次に示す。(質問事項は無かった)

「災害への備え」を学習して		
2年 組 番 氏名		
次の事項について回答してください。(A:はい B:まあまあ C:いいえ)		
1 分かりやすい説明でしたか。	( A B C )	
2 自然災害について考えることができましたか。	( A B C )	
3 「ハザードマップ」の必要性がわかりましたか。	( A B C )	
4 住まいの安全対策について理解できましたか。	( A B C )	
5 資料編は参考になりましたか。	( A B C )	
6 質問や感想等、記入してください。		



- ・小学校で避難訓練などはしていましたが、自然災害というと少し他人事だと思っていたところがありました。今回のお話を聴いて、防災マップを見たり、災害保険について知り、もっと防災について考えたいと思います。
- ・今まで「もの」の対策(家具の固定など)ばかり考えていましたが、「お金」の対策も必要だとわかりました。親とも話し合ってみて、保険について見直したいです。
- ・自然災害について、あまり深く考えたことはなかったけれど、今回のお話を聴いて危機感を感じるようになりました。まずは、自分で作った「すくーとん」を上手く活用したいです。

## 3 成果と今後に向けて

生徒の感想から、自然災害は日頃から災害時の対応を考え、住まい方を工夫することで被害を軽減できること、そして、災害への経済的な備えも大切であることなど理解できたように思われる。特に、貯蓄と住まいの保険については、日本損害保険協会との TT 授業だからこそ取り組めた内容だと言える。また、ハザードマップや災害用伝言ダイヤルなどは、実物やスライドを活用した説明により、生徒は一層理解を深めることができたと思う。

防災教育は、中学校のカリキュラムに含まれている。本校では家庭科からの視点を大切に授業を進めるとともに、避難訓練時には「すくーとん」を被らせ、学校教育と合致させる場面も大事にしている。

前述したように、今回報告した TT 授業の内容は、教師ひとりでも授業展開が可能な内容になっており、ワークシートや資料編を活用しつつ、指導いただけたらと願うところである。

なお、現在ワークシートと資料編は日本損害保険協会と再検討しており、いずれは先生方に配付できるようにしたいと考えていることを付け加えておきたい。

